

発行所
岡山県立岡山工業高等学校
工友会
岡山市伊福町4丁目3番92号
編集責任者:地頭代紘史
藤原 重喜
印刷所:旭総合印刷

ご意見、情報はこちらまで
TEL 086-252-5231
FAX 086-252-7130
http://www.okako.com/
ホームページ担当:今井
(昭58年子卒)

ごあいさつ



工友会会長
萩原 明
(昭和17年土木科卒)

平成十四年度の工友会会報を
発行するにあたり、一言ごあいさ
つを申し上げます。きびしい世情
ではございますが、まずは工友諸
兄のご清祥をお慶び申し上げ、日
頃のご支援、ご協力に感謝申し上
げます。

今年度は、設計、監督は建友会(建
築科卒業生の会)を代表して、創
和設計、ベン設計の二社、施工は
大本組、現場監督は建築科長の中
西先生にしていたできました。九
月三十日に完成し、十月十日ささ
やかな竣工式を行いました。

今年に念願の母校百周年記念
会館が九月三十日完成いたしました。
資金は平成九年から始めまし
た募金、工友諸兄の浄財が中心
で、学校、奨学会、企業等の協賛に
よるものでございます。ご支援を
賜りました皆様、心より厚く御
礼を申し上げます。

百周年は昨年でございましたが、
会館の建設場所が廃校となる後
楽館高校の食堂跡地ということ
もあり、三月の廃校を待って着工
した為、一年遅れて完成というこ
とになりました。

会館は一階が食堂、二階が多目
的ホール、三階が資料博物館で、
延百五十坪、鉄骨造の三階建てで
ございます。設計、監督は建友会(建
築科卒業生の会)を代表して、創
和設計、ベン設計の二社、施工は
大本組、現場監督は建築科長の中
西先生にしていたできました。九
月三十日に完成し、十月十日ささ
やかな竣工式を行いました。



だき、会館共々ご高覧下さるよう
お願い申し上げます。

今年度の工友会総会は、七月十
四日(日)岡山プラザホテルで開
催されました。総会では百周年が
終わった節目ということで役員
の交代がありました。永年、副会
長を勤めて頂いた難波 溥氏(昭
和九年応化科卒)、武市敏男氏(昭
和十五年金工科卒)、黒田次郎氏(昭
和十八年機械科卒)、鏡原進氏(昭
和二十五年土木科卒)の四氏がご
退任、大塚勝正氏(昭和二十六年
機械科卒)、鳥越 替氏(昭和三十
三年工化科卒)、山内静男氏(昭和
三十六年土木科卒)三氏のご就任
が決まりました。退任されました
各氏には、永年、工友会
活動の指導をして頂き、
特に百周年の募金活動
には率先尽力して頂き
ました。その労を多とし、
感謝申し上げます。

総会は予算、決算の
承認に続いて懇親会と
楽しいひとときを過ご
すことが出来ました。
ご準備頂いた岡山市水
道局支部の佐々木支部
長はじめ支部工友の方々
に厚く感謝の意を表す
ものでございます。

次回は西部技術コンサル(株)
支部のお世話で、平成十五年七月
に開催する予定でございます。工
友諸兄のご参加をお待ちいたし
ております。

次に残念なことです。九月二
十三日、副会長畑中美代子氏(昭
和三十一年デザイン科卒)の訃報
に接しました。女性の副会長とし
て長い間尽くして頂きましたご
功績に対し、心より感謝申し上げ、
ご冥福をお祈りいたします。

最後に、工友皆様の益々のご活
躍、ご健勝を祈念し、母校の繁栄
を願ひ、ごあいさついたします。

創立百周年記念会館完成



学校長
長江 弘行

十月、記念会館建設が決定されて以来五年間、数多くの困難を乗り越えての完成で感無量でした。特に建設資金の募

寒さの厳しい毎日ですが、陽光の中に春の近いことを感じるようになりました。工友会の皆様におかれましては御健勝にて御活躍のこととお慶びを申し上げます。平素から母校教育の充実・発展のために物心両面にわたって御理解と御支援を賜っております。衷心よりお礼を申し上げます。

会裏に終了できましたのも、工友会の御支援のお陰と感謝いたしております。さて、創立百周年記念事業の記念会館建設につきまして、用地の関係から着工が遅れていましたが、昨年四月から工事が始まり、五月九日の工事安全祈願祭以降順調に工事が進捗し、十月十日の竣工式により念願の記念会館が完成しました。平成九年

金活動には、工友会、奨学会の皆様にはたいへんな御苦労と御尽力を賜りました。募金に御協力くださいました工友会員、各種事業所、現旧教職員の皆様からお礼を申し上げます。また、設計と建設にあたってくださった方々にも御協力をお願いいたします。厚くお礼を申し上げます。

昨年度は本校創立百周年に関連した多くの記念行事が盛り上がり、生徒と教職員の便

の竣工式により念願の記念会館が完成しました。平成九年

記念会館の一階は食堂となっており、生徒と教職員の便



テープカットで完成を祝う。



三階 資料博物館



二階 多目的ホール



一階 食堂

宜が図られています。二階の多目的ホールは教科指導のほかに生徒の自主活動や教職員各種研究会などに使われています。三階は百年間にわたる工業教育の歴史的資料の常設展示室として整備し、内外の人々に見ていただくよう努力してまいります。このように記念会館は、本校教育にとって新しい教育活動の場としてたいへん意義ある施設でございます。

記念会館の東隣には、本校創立六十周年記念事業の工友会館があります。このたび工友会館に加えて百周年記念会館が完成しました。二つの会館は本校教育の発展充実に資するにとどまらず、県下の各種教育団体の活動拠点として大きな役割を果たすものと確信いたします。このように意義ある記念会館を末永く大切に、そして有効に使わせていただくことをお誓い申し上げます。

紙面を拝借して部活動の近況をお伝えします。昨夏的全

国大会には運動部から陸上競技、自転車競技、ボクシング、カヌー、少林寺拳法、文化部から美術、囲碁、合計二十五名が出場しました。

秋季国体には陸上競技、自転車競技、ボクシングの各部から六名が参加しました。また第八十二回全国高校ラグビー大会にラグビー部が四年ぶり四回目の出場を果たしました。そのほか吹奏楽部の中国大会出場や、スターリングエンジンを動力とする模型自動車全国大会で優勝するなど文部も活躍しています。

生徒は学習活動と部活動の両立をめざして努力しております。教職員は社会に有為な人材の育成に全力である決意しております。今後とも御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に記念会館完成に際してお礼を申し上げますとともに、工友会の御発展と会員の益々の御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。

工友会の皆様には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

母校創立百周年の歩みから、一步踏み出した平成十四年度の工友会総会を、岡山市水道局支部で担当させて頂き、皆様のご協力の中、平成十四年



平成14年度 工友会総会

算・監査報告、役員改選、平成十四年度事業計画、予算およびその他の審議を滞りなく終えることが出来ました。

なお、役員改選にともない、退任された四名の方のうち、当日ご出席の武市副会長、鏡原副会長に永年の功績を称え

総会を終えて

岡山市水道局支部支部長
佐々木 佳美
(土木科三十六年卒)

て花束の贈呈があり、また武市副会長には二十二年という長い間重責を担っていただいたことに、**お褒め状**、萩原会長から記念品料の贈呈がありました。

七月十四日(日)岡山プラザホテルにおいて盛大に開催することが出来ました。当日は天気にも恵まれ、二百名を超える会員の皆様のご出席を頂きました。萩原会長、長江校長のご挨拶の後、議事に入り、平成十三年度事業・決

当日所要でご欠席の難波副会長にも二十二年のご労苦に対して記念品料を後日事務局より届けていただきました。退任された役員の皆様、長い間工友会並びに母校発展のため、ご尽力を頂き誠にありがとうございました。

総会の後、懇親会にうつり、

遠藤嘉昭(土二十七卒)岡山市水道事業管理者の開会宣言に続いて海外公演でも実績のある「倉敷天領太鼓」の勇壮な演

奏を楽しんでいただきました。その後、鏡開き、乾杯そして広島支部から特別出演を頂いたお二人の唄と踊りによる「旅

姿三人男」の名演技に場内も盛り上がり、談笑懇親、旧交を温め、しばし、ときを忘れて楽しんでいただけたものと思っております。

最後になりましたが総会に際しましてご協力を頂きました諸先生、諸先輩、そして快く受付を手伝って下さった「あじさいの会」の皆様、本当にありがとうございました。

また、ご多忙中にも拘わらず、遠路お越しを頂きました工友会会員の皆様に心より感謝申し上げます。

皆様の益々のご健勝、ご多幸、そして工友会並びに母校の発展を祈念してお礼の挨拶とさせていただきます。

工友会総会の担当支部として

西部技術コンサルタント(株)支部支部長
萩原 章弘 (昭和四十八年土木科卒)

工友会の皆様方にはご健勝で多方面にわたりご活躍のこととお慶び申し上げます。

はからずも小支部である西部技術コンサルタント株式会社支部が平成十五年度の工友会総会のお世話をする事になりました。何分少数人数に加えて未経験のため会員皆様方のご指導ご協力を得ながらお世話をさせて頂きたく思っておりますのでよろしくお願い致します。

一昨年の母校創立百周年記念式典および記念祝賀会そして昨年十月十日には待望の百周年記念会館がめでたく落成されました。この会館が我が母校のさらなる発展のため利用されることを囑望しております。

さて我が支部では、支部総会を開いて平成十五年度総会準備会を発足させました。こ

れから色々と検討して総会及び懇親会が皆様方に満足して頂けるよう準備を進めているところでございます。どうか皆様、旧友をお誘い合わせのうえ、多数の会員の参加のもと総会の成功と工友会の益々の発展を望む所存でございます。何卒よろしくお願いいたします。

なお、今年度の総会開催日は、平成十五年七月十三日(日曜日)、会場は例年開催しております岡山プラザホテルでの開催を予定しております。

平成15年度

工友会総会

平成15年7月13日(日)
10時より

総会担当
西部技術コンサルタント(株)支部
支部長 萩原 章弘

会場 岡山プラザホテル
電話 086-272-1201

工友会副会長

就任のご挨拶

大塚 勝正
（昭和二十六年機械科卒）



高等学校は岡山県で最初に工業学校として設立され、以来一世紀にわたり、日本の工業技術の進歩発展に寄与してまいりました。同窓の友もすでに二万数千人となり、各界で大いに活躍しておられますことは同慶の極みでございます。

工友会会員の皆様方には、ますますご健勝で各界においてご活躍のことと、心からお慶び申し上げます。

私は、去る平成十四年七月十四日に開催されました工友会総会におきまして、多くの諸先輩の方々がおられるにも拘わらず、図らずも副会長に推挙を賜り、就任いたしましたものでございます。このことは、私にとりましては誠に光栄なことであり、その重責に対し身の引き締まる思いでございます。

平成十三年十月十日には、創立百周年記念式典が岡山市民会館で盛大に開催されました。また、記念事業としての百周年記念会館も平成十四年十月十日、見事に竣工をみたところでございます。これらの行事や事業をとおして感じられますことは、学校教職員の方々の日頃からのご努力、関係する地域社会のご理解、ご支援は申すに及ばず、会長を始め会員の皆様方の記念事業推進に対する母校への思いのこもった力強いエネルギーは、さすがに歴史と伝統をもつ岡工ならではのものを強く感じたものでござい

ます。

昨今の社会経済の動向は、バブル崩壊後の処理に追われ、不安定な状況にあり、生産活動も合理化による雇用不安等、まことに厳しいものがあります。しかしながら、工業立国の我が国を支えてゆくのは卓越した技

術技能をもった若い工業人

術技能をもった若い工業人



鳥越 栞
（昭和三十三年工業化学科卒）

工友会会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

私は去る七月十四日の工友会総会におきまして、図らずも副会長にご推薦いただき、とまどいながらも就任いたしました。昭和三十三年工業化学科を卒業以来、工場の一隅での勤務に従事しただけの私には、このご推挙は身に余ると思えてなりません。母校そ

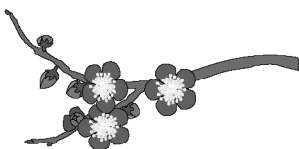
術技能をもった若い工業人であり、その教育機関である母校が、次の輝かしい二百年に向かつて、更なる飛躍をみますることを祈念し、工友の皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。副会長就任のご挨拶といたします。

して工友会のために何が出来るのかと自問すれば、心凍る思いもいたしますが、萩原会長はじめ諸先輩方のご指導をいただき、精一杯務めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

去る十月十日の百周年記念会館竣工式に出席させていただき、大変感激いたしました。母校を思う卒業生の心が形となった立派な会館でございます。三階の資料博物館には、学生時代に使った懐かしい機器もあり、しばし思い出に耽ることも出来ました。現在の工友は約一万八千名、各分野において活躍されておられますが、募金に協力いただけたのは三千余名と聞き、これは少し寂しいと思いました。私

が勤務した（株）クラレ岡山工場には、百余名の岡工出身者が在籍しており、工友会クラレ岡山支部として毎年総会を開催して参りました。したがって、私にとりましては、岡工も工友会も身近なものであります。しかし、一般的には、そうではない卒業生の方も多いのではないかと考えられます。卒業生は全員が工友会会員であります。会員にとつて近い存在の工友会であるためには何が必要なのか、今の私には妙案はございません。まずは私の同級生に、工友会に対する意識を聞くことから始めてみたいと思えます。

百年の節目を越え、新たな歴史を築き上げて行く母校岡山工業高等学校のますますの発展を祈念し、工友会員皆様にご指導とお力添えをお願い申し上げます。副会長就任のご挨拶とさせていただきます。



山内 静男
(昭和三十六年土木科卒)



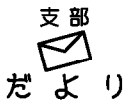
熱帯夜・真夏日、小雨・濁水と記録続きの昨年の夏でしたが、工友会員の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。私、去る七月十四日(日)岡山市水道局支部のお世話で開催された「工友会総会」でご推薦いただき、副会長に就任いたしました。

ご指導、ご協力を頂き市政発展のために貢献することができましたことに深く感謝しております。

さて、在校生の運動部、文化部の活躍ぶりを見るに付け三年間とはいえ、充実した学校生活を送られている様子に心温まるところであります。卒業後、社会人となり工友会員として、母校の情報交換・同級生の近況など、親睦の場となる「工友会総会」において若年層(若者)の参加者が少ないのが気になっております。

「工友会総会」とは？いつだったん？など毎年開催していることも知らない若手諸君が結構多いことに驚いております。支部ごとに、あるいは卒業年次ごとの親睦会・同窓会の中で、工友会総会のPRと参加の呼びかけをしながら、大勢の参加者のもと、「誠実・勤勉」の校訓で培った工友が一堂に会することに意義があるのではないのでしょうか。

萩原会長はじめ、役員、工友の皆様、事務局の先生方のご指導のもと、微力ではありますが、頑張ることを約束し、就任のご挨拶といたします。



【関東支部】

関東支部長
板野 尚武
(昭和25年土木科卒)

工友会の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平成十四年度より、支部長に選任されました。今後ともよろしくお願い致します。

関東支部は、平成十四年度総会を昨年の四月二十一日に東京駅丸の内北口の「みかど」二階宴会場で、本部より萩原会長、母校より大高教頭、武田電気科長の来賓を仰ぎ、女性会員一名を含む会員二十八名が出席して開催しました。

総会は、小池副支部長(二九化卒)の司会により、新旧支部長の挨拶から始まり、新田支部池口事務局長(三四機卒)による出席会員の紹介、会務・会計報告、岸本会計監事(二五機卒)



科の卒業生の参加は無く、最近では初めてのことで。出席者も年々減少しています。当支部では、平成九年度に会員名簿を刊行しましたが、それによると平成十年一月一日現在、現住所が判明している会員は八百二十六人でした。今年には会員名簿を刊行する予定です。

年一回発行の支部会報には諸先輩の随筆を掲載し、訃報や転勤、転居などの会員近況、会務報告と会計報告などを掲載し、本部会報と同封で会員に配布しています。

戦前から続いている伝統ある関東支部の活性化を図り、「会員相互の親睦を図る」をモットーに支部活動をしていますので、よろしくご支援の程お願い申し上げます。

関東地方に就職または入学される今年卒業の方は、来る四月六日(日)十一時から、東京駅丸の内北口「みかど」で行う総会と懇親会にご招待致しますので、皆さんお誘いの上、是非ご出席下さい。

影で無事に終了しました。引き続き懇親会に入り、今吉副支部長(三四機卒)の司会で、守屋得一氏(十機卒)の音頭による乾杯から始まり、来賓ご三方のご挨拶にあった母校や郷土の現況を中心に話の輪が咲き、最後は校歌斉唱と手締めで散会となりました。当日の参加者の内訳は、昭和十年卒業の大先輩から昭和五十年卒業の中堅まで、機械科卒十一名、土木科卒九名、化学科卒八名で、残念ながら他

連絡先 〒二五〇一〇八〇七
平塚市代官町八六四〇二
池口 健児(昭三十四機卒)
TEL: FAK(0463)2412487

【大阪支部】 (岡友会)

真寺 豊
(昭和38年工業化学科卒)

工友会会員の皆様には、ご健勝で活躍のこととお慶び申し上げます。

平成十三年度第二十二回大阪支部(岡友会)の総会が十月二十六日(土)十二時より恒例の会場となった「京橋・扶桑会館」で開催されました。

開催日程が秋の行楽時期と重なり参加者が減るかと思いましたが、会員諸氏のご協力で約五十名の参加となり、久しぶりに会員諸氏が再会され総会前の一時を笑顔で過ごされました。総会前に幹事会が開催され、一年間の業務報告とその反省、次年度の取り組み事項、会計内容、会計監査、理事推薦等が話し合われました。

総会にはご多忙の中、来賓として工友会本部より岸本副会長、母校より大高教頭、地頭



代工友会事務局長のご出席をいただきました。総会は黒田岡友会会長(昭和二十年化学科卒)から「工友会本部、母校、在阪会員の協力で第二十二回総会が迎えられました。また母校百周年の記念会館建設に寄せられた会員兄弟のご協力を感謝いたします。

今後も工友会の在阪支部として工友会のご指導を頂き、経済環境厳しい折ながら在阪会員の連絡・親睦の会として

運営していく所存です」と挨拶されました。尚、記念会館建設にあたり長江校長よりの「会員諸氏よりご協力を賜ったことへの感謝の言葉も紹介されました。

萩原会長は所用が重なって欠席となり、岸本副会長(昭和三十一年建築科卒)より改めて本部の大きな仕事であった会館建設の詳細報告がなされました。また、「岡

います。三階は資料博物館として百年間分の資料が展示してあります。また、各科の実習棟の更新建て替えを順次進めており、学校敷地が「津島遺跡」と深い関係があり遺跡調査が行われています。

生徒諸君も体育祭、インターハイ等に参加し好成績を得ているものの、就職に関する進路は、経済環境を反映して厳しい面がある」等のご報告を戴きました。地頭代先生からは、「本部工友会会報の充実を図るために、記念会館の詳細の構図、NHKでも放映されたドーバー海峡のトンネル工事に携わった先輩の記事を掲載している。

また、工友会名簿(二〇〇四年版)の計画はしていますが、工友会とは無関係の業者による直接勧誘等の話も聞くので注意していただきたい。百周年の記念誌(定価三千円)も発行しています。」のご報告があり、「会員諸氏の交流の場としての工友会会報の充実に努めたく、記事があればどしどし応募して欲しい」との要請がありました。

議事に入り為房岡友会事務局長(昭和二十五年化学卒)よ

り会員動静、親睦ゴルフ大会開催、総会開催等を含む一年間の動向が報告され、続いて会計収支報告、会計監査報告がなされ報告内容が承認されました。今年には役員改選年で全員の再任と新たに「遠藤寛之氏(昭和三十九年工卒)が承認され、無事に総会が終了いたしました。会場を移し、山崎

岡友会副会長(昭和二十三年土木卒)の乾杯の音頭で親睦会に入り、会では還暦を迎えられた会員に「盃」を贈ることになっており、今年も数名の方に井上网友会副会長(昭和二十四年化学卒)より贈呈されました。毎年のことながら卒業年次、科別の違いはありますが、同窓のよしみでご来賓の岸本副会長、先生方、女性会員さんを囲み、お昼のひとときを楽しく過ごすことが出来ました。時間が経過し、恒例になった在校時代のそれぞれの校歌を岸本副会長、先生方も声高らかに斉唱し、意気高らかな面を發揮され、お互いに健康に留意して来年の再会を約して解散となりました。第二十二回岡友会(在阪工友会支部)総会が無事終了したことを支部報告と致します。

【女性支部】 (あじさいの会)

畑中支部長を偲んで



長谷川 節子
(昭和三七年
工業学サイン科卒)

畑中美代子先輩 あなたに初めてお会いしたのは、十七年前になるのですね。

岡工で数少ない女性卒業者が二百名を超えたからと、工友会女性支部誕生の案内をいただき、第一回目から参加を続けて来られたのは、ひとえに畑中支部長の明るく飾らないお人柄で、私たち後輩を常に温かく指導下さったからです。(畑中軍団のおかげ!)そして何よりも、母校岡工卒を誇りに思われている情熱でし

た。その熱き想いが、工友会女性支部(あじさいの会)の集いだけでなく、工友美術展や、秋の岡工祭へ「あじさいの会一日作品展」コーナーを設け、在校生たちとの交流を図るなど、どこからそんなパワーが出るのかと、いつも感心しております。

そんな頼りがいのある常にエネルギーシユなあなたに、あじさいの会のメンバーは甘えつつ放しでした。支部長という大役は、余りにもあなたにお似合いで、二十年間は続けて下さるものと信じておりました。だから、毎年あじさいの咲く頃になると、あーそろそろ畑中先輩から「IEJあるぞ!と「会次第」の準備です。会次第を書くのは私の担当。おかげで今年は、第何回目、と回を重ねる度に、今年も先輩、後輩の方たちに会える喜びと共に、一年毎の重みを感じたものです。各々に皆さん、一年一年成長されているのです。それが私にとって、私も皆さんのように頑張つて生きねば!という励みになって、火災、転職、交通事故、弟や母の死、失

業という矢継ぎ早の試練に耐えることが出来、それをバネに私のライフワークになりそうな「ひとこと詩書展」と、カンボジアの井戸掘り用の「カレンダー作り」を続けてこられたのだと思います。貯金をはたいて「ひとこと詩書展」の



総会ではいつも笑顔で迎えてくださった畑中様(右より2番目)

に表していた自分の心の奥を、先輩の何気ないひとことで知ることが出来たのです。先輩の愛校精神は、一人だけのものでなく、岡工で学んだすべての人に自然に溶けこんでいるのだと!

「誠実 勤勉 たゆみなく

工の道の…」と岡工の校歌のことばは、岡工で学んだ一人一人の身に沁みこんでいるのだと思います。だからどんな仕事についても誠実に勤めることが出来て、そのご縁で何十年も前の上司のご家族とおつきあいが続いているのだと思います。畑中先輩とあじさいの会とのおつきあひも、誠実・勤勉がその元にあったから、そこで気がついたら、十七年も畑中先輩の背中

におんぶされていたんだなと。

畑中先輩、あなたの訃報を聞いたとき、受話器を持ったまま暫く動けませんでした。三月には、カンボジアの井戸掘りツアーに参加することを報告すると、がんばつておいでと、私の持参した手作り弁

当を喜んでくれて、私もカンボジアから帰る頃には、畑中先輩は退院して、あじさいの会には完全復帰を信じておりました。五月にお会いしたときも第十七回あじさいの会は、畑中先輩復帰を祝う会にしたことから、という会員の方々の声を信じていたこともあり、こんな早いお別れになろうとは思わずに、私は生活に追われればなしでございました。あなたが、こんなに早く逝くなんて!。思い返せば、今年の我が家のあじさいは水不足で余り咲かなかつた。(毎年あじさいの会に持参できるほど咲いていたのに! 畑中先輩のために天国で咲いていたのでしよう。)

今、あなたが下さったアルバムを開きます(火事で全てを失った私のために、あじさいの会のスナップを貼つて下さった吉岡先生と共に、どうか安らかに!とようやく心も落ち着いて、羊年のカレンダーが出来上がったので、あなたに一番に見て欲しくてアルバムに挟みます。 合掌

【広島支部】

広島支部長
足立 良成
(昭和29年工業化学科卒)

今年の総会も平成十四年六月一日(土)広島駅前ホテルセブンチユリ21にて開催いたしました。本部より萩原会長、長江校長、事務局長代理として平田土木科長(三六土卒)のご来臨を得て左記会員により開催いたしました。

河原克平(十三土卒)、黒崎万亀夫(十七土卒)、伊丹剛(二六土卒)、内田和男(二七土卒)、服部芳弘(二九土卒)、堀江重喜(三五土卒)、岸本義徳(三七土卒)、梶谷茂(五一土卒)、足立良成(二九化卒)、末廣勉(三十化卒)、三近秀樹(三五建卒)以上十四名の出席のもと、ご来賓の萩原会長より昨年の創立記念式典、又記念会館建設募金のお礼、三月二十九日記念会館を(株)大本組が落札、五月九日起工式を行い、埋蔵



の伊丹剛(二六土卒)氏が「旅姿三人男」を熱唱し、三近秀樹(三五建卒)氏が「縞の合羽で三度笠」の衣装で踊りを披露して出席者から大好評を得て当支部の存在をアピールできました。

●広島支部夏期親睦会

平成十四年八月二十三日広島市内のピアホールにおいて支部会員十名参加し親睦を図り暑氣払いをいたしました。

●親睦ゴルフ会

三月から十二月の期間で毎月第二水曜日に開催しています。今期の取りきり戦は、伊丹剛(二六土卒)氏が優勝されました。同好の方は、左記へ連絡して下さい。

広島県佐伯郡湯来町大字下七八六一 伊丹剛
電話 08362-3-0026

●広島支部副支部長 荒木弘一(二五土卒)氏が平成十四年三月二十七日逝去されました。

支部発足以来、当広島支部発展にご尽力をいただきました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

最後に工友会員の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

●平成十四年度工友会総会へ広島支部より出席
平成十四年七月十四日(日)に広島支部会員八名が出席いたしました。総会終了後、懇親会の余興として、当支部会員

ラグビー部
全国大会出場と近況報告

顧問 川高 俊哉

ラグビー部では、平成十四年十一月二十三日、美作ラグビー場で行われた全国大会県予選で宿敵津山工業高校を破り、「四年ぶり四回目」の花園(全国大会)出場を果たしました。

しかし、ここにいたるまで決して楽な道ではありませんでした。一年生(十三人)が入部するまでの、春の中国大会予選では部員十六人で人が人続出のなか、中国大会の切符を手に入れました。中国大会(島根県)までに人が復帰せず、何と経

験一ヶ月の一年生が出場するという非常事態の時期でした。今年度の一番底のチーム状態でした。

夏には例年のとおり菅平(長野県)合宿を実施しました。一年

生がめきめきと力をつけ、上級生を脅かす存在になり、また、上級生も他県と有力校とのゲームを通して自信をつけていきました。

このまま、秋に向けて調子を上げてと思った所、ミス連発で調子に乗れず九月の大会を終えました。その後、御所工業高校(奈良県)での合宿をへて全国大

会予選をむかえました。二回戦岡山朝日、準決勝では関西に快勝し、決勝戦に駒を進めました。決勝戦では開始二分のノーホイットラストライで先制され、どうなるかと思わせたもののチームの勢いと、精神的な粘りで終わってみれば二十九対十四と大勝でした。

迎えた第八十二回全国高等学校ラグビーフットボール大会では十二月二十八日、一年連続二十六回出場の高岡商工(岐阜県)との対戦でした。「自分達より上のレベルのチームと対戦し、そして勝とう」という目標を掲げていましたが残念ながら力およばず一回戦敗退でした(七対三十五)。

全国大会に際しましてはいろいろな面でのご支援をいただきありがとうございます。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

最後に先日(二月九日)行われた新人大会決勝戦では、津山工業に五対五の引き分け両校優勝という結果でした。二年連続全国大会出場を予感させるゲームでした。

創立百周年記念事業 実行委員会事務局だより

経過報告

事務局長(教頭)
大高 正憲

創立百周年記念会館建設につきましては、平成九年十一月二十九日に、約一万八千通の募金趣意書を配布して以来、大変長きに渡り、多くの工友の皆様にご厚志ならびにご厚情をお寄せいただき、誠にありがとうございます。お陰を持ちまして平成一四年十月十日には待望の「百周年記念会館」竣工式を執り行い、当初の目標をほぼ達成できたものと思っております。

●平成十三年十一月十二日

建友会会長に、工事完成日を平成十四年九月三十日の予定として設計を依頼する。

●平成十四年三月二十九日

工友会館において百周年記念会館建設工事の入札を行い、(株)大本組が落札した。

●平成十四年五月九日

創立百周年記念会館建設予定地において安全祈願祭を執り行った。



式次第

開式

修祓之儀(しゅばつのぎ)

降神之儀(こうしんのぎ)

献饌(けんせん)

祝詞奏上(のりとそうじょう)

司法祓之儀(しほうはらいのぎ)

歛入之儀(くわいれのぎ)

鎮物埋納(しずめものまいのう)

玉串奉奠(たまぐしほうてん)

徹饌(てっせん)

昇神之儀(しょうしんのぎ)

閉式

神酒拝戴(しんしゅはいたい)

●平成一四年九月三十日
当初の予定通り百周年記念会館が完成し、引き渡し式を本校で執り行った。

●平成十四年十月十日

創立百周年記念会館の正式名も「百周年記念会館」と決定し、本校の創立記念日である十月十日に、創立百周年記念事業実行委員会を中心に、工事関係者、学校関係者が相集い創立百周年記念会館竣工式を執り行った。

一、オープニングセレモニー
テープカット

工友会会長 萩原 明

奨学会会長 小栗信治

建友会会長 貴田 茂

(株)大本組 種村親志

校長 長江弘行

生徒代表 佐藤竜太

二、竣工式

式次第

開会宣言

工友会会長あいさつ

校長あいさつ

完成経過報告(事務部長)

感謝状贈呈(会長)

(株)創和設計

代表取締役 貴田 茂

(株)ベン建設設計

代表取締役 芝村満男



(株)大本組 岡山支店

常務取締役支店長 種村親志

絵画寄贈者 水戸岡鋭治

生徒代表あいさつ

閉会宣言

●平成一四年十一月十八日

創立百周年記念事業に対し募金をいただいた方々に礼状を発送した。なお、「百周年記念会館」三階の資料博物館入口に寄付者芳名板を掲示している。

十月二十一日から営業している、記念会館一階の食堂は大変好評で、連日大勢の生徒が利用しています。二階の多目的ホールは生徒の特別授業や会議等への有効利用が始まっています。三階の資料博物

館につきましては、校内に「百周年記念館展示資料選定委員会」を立ち上げ、内外から寄せられた多くの貴重な資料の整理・選定を行っています。現在、資料博物館では仮展示を行っており、今後、一層充実した展示内容にしたいと考えております。工友の皆様には、機会があれば是非お立ち寄りいただき、ご高覧いただければと思います。

今後とも本校の歴史と伝統を踏まえながら岡工生としての自信と誇りを持ち、二十一世紀を逞しく生きる工業人の育成にあたっていききたいと思っておりますので、工友会の皆様の一層のご支援をよろしくお願いたします。





卒業生のご活躍

市民の足として親しまれている岡山電気軌道の路面電車に、新型車両が運行を始め、話題を呼んでいます。この電車の愛称は「MOMO」(モモ)。

電車を設計・デザインしたのは本校、工業デザイン科、昭和41年ご卒業の水戸岡鋭治氏です。

ご多忙の中、開発にあたっての興味深いお話を寄せていただくことができました。

享月 日 発行 局 2002年(平成14年)10月9日 水曜日 10版

超低床路面電車

MOMOで「日本鉄道賞」

記者会見したMOMOのデザインを担当したプロダクトデザイナーの水戸岡鋭治さん(左)は「MOMOは市民みんなの手で作った電車。これからはMOMOを中心とした街づくりを進めていきたい」と喜びを語った。同社の小嶋光信社長は「MOMOは子どもたちに夢を与える存在であり、地方都市の活性化の起爆剤と評価された。受賞を契機に市民の声をもちこみ、新たな事業化へつなげていきたい」と話した。

同賞は、今年で鉄道開業から130周年を迎えたのを記念し、鉄道への理解と関心を一層深めてもらうと業界団体が創設した。第1回目は、企業や市民団体から58件の応募があり、同社は「地方鉄道における活性化への貢献」部門で最高の評価を受けた。

岡山電気軌道



受賞を喜びデザイナーの水戸岡鋭治さん(左)と小嶋光信社長(岡山電気軌道)の前で記念撮影。

7月から岡山市内で超低床路面電車「MOMO」を運行している岡山電気軌道(本社・同市)が8日、今年新設された「日本鉄道賞」を受賞した。MOMO導入に伴う電停のバリアフリー化やインターネットでの運行情報検索、電車内で催した各種のイベントなど、市民と連携した街づくり活動が評価された。

バリアフリーや運行情報の検索 市民と連携評価

城下筋を北上中。新しい岡山の顔として注目されています。



東山線を走るMOMO。西大寺町駅に差し掛かるところ。



街と人を結ぶ21世紀の乗り物 LRV

コンセプト

魅力的な乗り物として一人でも多くの人を惹きつけることができるよう、利用者の求める快適さを演出する。車内空間の充実と、弱者に対するきめ細かい人的サービスに取り組み、21世紀の用と美に合ったLRVを走らせる。

概要

エクステリアは景観の一要素、舞台のセットの一つにして扱った。雑多な色が混ざり合う街を走るときどう映るのか。ホームでは人の良き背景になれるよう、外観はライトシルパーメタリック、キーカラーとして一部にコバルトブルーメタリックを使い、ツートンカラーとした。ガラス面が広く大きいので明るいモダンな印象に仕上がるはずである。

中に入ると今度は木を中心に、アルミ、ガラス、鉄といったエコ素材を使い、視覚的、機能的、そして精神的にも心地良い癒しのインテリアに仕上げる。特に五感で時代を感じてもらえるよう、良い音を聴き、良い素材に触れながら飲食できる空間を考える。

昼は昼のインテリア、夜は夜の雰囲気を楽しむような照明効果、音響効果を期して必要に応じた小さなテーブル、小さなベンチなどを設置する。

小さいながらも車内を歩きたくなるように、モビリティを生かし開放感と安心感を提供するアメニティがある魅力的なLRVを目指す。同時に、長い目でみて「街の財産」として認知してもらえるよう、デザインの質とコスト意識とにバランスよく目配りした車両をつくっていきたい。

ドーンデザイン研究所 水戸岡 鋭治
岡山電気軌道(株)のホームページより



岡山駅前(上)
広榮堂本店(下)
イラストレーション:水戸岡鋭治



MOMOとわたし

水戸岡 鋭治



市民団体RACDA「路面電車と都市の未来を考える会」から依頼を受けて岡山電気軌道のLRV(低床電車)のデザインを引き受けたのは平成九年のことだった。それから紆余曲折あり関係各位の大変な尽力のお蔭で、岡山のLRV「MOMO」は昨年開業した。わずか一両のみの運行とはいえ、偶然この車両に乗り合わせた方もおられるだろう。幸運にも、その年に創設された

ばかりの「日本鉄道賞」を、地方活性化への貢献を評価されて受賞したこともあってか望外の反響を呼び、MOMOを縁にわたしと岡山の人々と街との付き合いが本格化した。当初はボランティアという気持ちもあって、これほど深く広く運営面などにまで係わることになるうとは考えていなかった。ただ、十数年にわたってJR九州の車両や建築の

設計デザインに携わってきた経験から、空間だけでなく時間も皮膚感覚もゆたかに満たすことがわたしたちの仕事、デザインは究極のサービス業という考えが染みついている。自然と手だけでなく口も出す、ささいな関連グッズにまで目配りしないとおさまらない結果となった。

MOMOについて、同じく岡電バスのボディデザインを手がけた。百周年記念会館に桜のイラストを展示していただいた。県の陸上競技場サインデザイン、遺跡&スポーツ資料展示室デザインも進んでいる。

例えば岡工を卒業してから大阪、ミラノ、東京と居を移し、毎月東京と福岡を往復することとはあっても岡山に足を止める機会ほとんどなかった。ふるさととか旧友とかいうのは、なぜかまっすぐ眼差しを交わすのがちよつと気恥ずかしいものである。自分の仕事とは無縁の地と意識的に距離

をおいていたのかもしれない。それがMOMOをきっかけに、四十年近く疎遠であった故郷の街と、社会人として初めて仕事を通じて向き合うことになったのである。

ンティアやら募金やら知恵と力を出し合って、ゆつくりじっくり計画を醸成していくしかない。もしご理解を得られるようなら、是非皆さまのご協力をこの場を借りてお願いいたします。

今また、二十一世紀の街づくりに情熱を傾ける方々とともに、車庫に眠る古い車両を再生しふたたび稼働させようというプロジェクトを立ち上げている。これもMOMO同様、予算の足りないところをボラ

奇しくもMOMOが発売式を迎えた七月五日は私の誕生日。人生半ばを過ぎて、自分が岡山の人として生まれたことをあらためて思い起こさせるめぐり合わせだと思っている。

水戸岡鋭治氏
(株)ドーンデザイン研究所
代表取締役
JR九州デザイン顧問
デザイナー・イラストレータ

1966年
岡山県立岡山工業高等学校
工業デザイン科卒業。
サンデザイン(大阪)および
STUDIO SILVIO COPPOLA(ミラノ)を経て
1972年ドーンデザイン研究所を
設立。



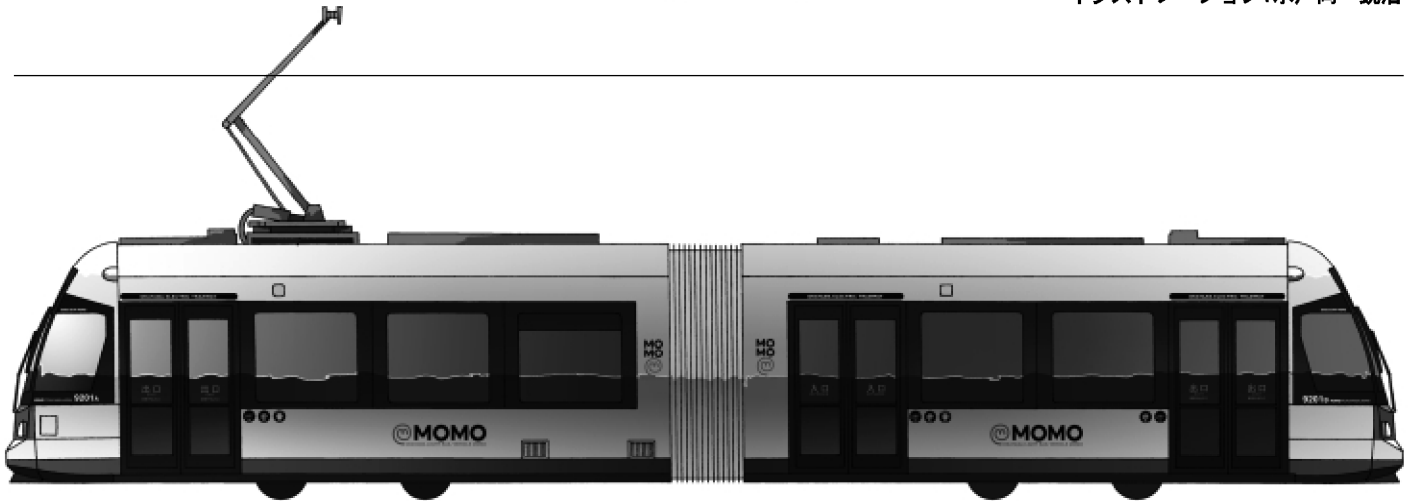
JR九州の特急列車「かもめ」(博多～長崎)、「ソニック885」(博多～大分)や西鹿兒島駅、熊本駅ビルほか、全国各地のホテル、レストラン、公共施設等多数の設計、デザイン等を手掛ける。岡山電気軌道の超低床路面電車「MOMO」。岡山県陸上競技場の色彩計画を進行中。また、それらについて、ブルーリボン賞、プルネル賞、グッドデザイン商品選定、日本鉄道賞、鉄道建築協会賞等多数を受賞。著書に「プレゼンタクティクス」等がある。

■100%超低床路面電車主要諸元

軌間 1067mm
電圧 直流600v
車体寸法 長さ18m 幅2.4m 高さ 3.407m
床面高さ ステップ 30cm 通路 36cm
重量 空車 約21t
定員 74人 内座席20人
乗降扉 ノンステップ・プラグドア 幅1.25m
運行設備 ワンマン運転設備
台車 4輪ボギー ×2台 弾性車輪付き
制御装置 VVVFインバータ
モーター 交流100kw×2台
ブレーキ 発電/回生ブレーキ、ディスクブレーキ
トラックブレーキ(電磁吸着式)
最高速度 40km/h(性能70km/h)
最高勾配 70%
最小曲線 半径18m



イラストレーション:水戸岡 鋭治



京橋を走行中のMOMO。



「MOMO」について詳しくは岡山電気軌道(株)のホームページ
(<http://www.okayama-kido.co.jp/>)をご覧ください。

記事の制作にあたり岡山電気軌道(株)のご協力を頂きました。紙面を借りて厚くお礼申し上げます。



懐かしき高校生時代

櫻村 一輝

(平成十二年化学工学科卒)

岡工を卒業して早や三年、岡工で過ごした年月に近づいた今日、岡工のことを懐かしく思います。私は今、大学三年生。勉強は正直大変ですが、岡工で学んだ知識が役に立ち何とかやっています。

さて、私が岡工のことで思い出すのは、何と言っても友人のことです。卒業した今、岡工へ行くことは、現在住んでいる所が遠いこともあり、ほとんどありませんが、友人とは実家に帰るときには必ず会います。学校で習った勉強は忘れてしまうものですが、友人は長い人生の中でかけがえないものになるので、岡工でたくさん友人が作れたことは良かったと思っています。そして、高校時代に部活動をやっていただけにも非常に良かったです。今はバドミントン部に入っていました。部活動

を通して多くの友人を作ることができましたし、現在もバドミントンをしているので多くの仲間を作ることができています。本当に高校時代に部活動をやっていて良かったです。顧問の桑木先生には非常に世話になりました。平成十一年度卒業のバドミントン部を代表してお礼申し上げます。

次に化学工学科での思い出ですが、やはりたくさん思い出があります。私は二年間評議員をしていたこともあり化学工学科で過ごしたことは人一倍覚えていきます。体育祭、文化祭は準備で遅くまでみんなでも取り組んだことなど、とても楽しかったです。しかし、私はクラス全員で資格試験に挑戦したことが一番の思い出です。資格試験の勉強は正直、楽ではなかったのですが、先生方の熱心な指導のおかげで

合格することができ感謝しています。公害防止管理者の試験では、合格こそできませんでしたが、香川まで受験に行き、電車の中ではとても楽しかったのが印象に残っています。その他にも校外学習なども非常に楽しかったです。この

ように岡工で過ごした時間はとても楽しかったことではないです。最後に生活面、受験などでお世話になった当時の担任で現在の化学工学科長の吉井先生にお礼申し上げます。



旧職員の思い出

卒業生「東條君」

矢田部隆一
(元電気科教員)

昨年は創立百周年を迎え、工友会の役員の皆様には大変お世話になりました。今年も創立記念会館も立派に完成し、皆様方にご苦勞の甲斐がありホッとしておられることと思います。

私は昭和四十五年から三十

年間岡工の教員として在職させていただき、その間多くの先生方と生徒に接することが出来ました。とても懐かしく思い出されます。中でも一人の生徒の生き方は今でも特別に印象深く残っていますので紹介させていただきます。

東條清君が入学した昭和四十七年は元県庁で趣きのある木造の本館が使われていた頃で、学園紛争の余韻がやっと消えて、生徒が落ち着いて勉強が出来る環境が整った時代でした。東條君を担任したのは三年生になってからでしたが、以前から授業には行っていた。その彼が三年生になってしばらくすると遅刻が多くなり、思い余って下宿先を訪れ、部屋に入るとタバコの煙がモウモウと立ちこめて、何人か居たと思われる部屋は蛻ぬけの殻という状態でした。彼がそのような状態になったのは離婚した両親から離れ一人暮らしの生活を余儀なくされた結果でした。この様に荒れた生活も、謹慎後は持ち前の抜群の学習能力を発揮して、クラスでのトップの成績を納め、将来教員となるための学費を蓄えるべく東芝へ就職。企業研修でさらに勉強精神に火が付いて東京理科大学の夜間部へ入学すると、一年生で「高校教育研究会」を発足させて教育への情熱をたぎらせました。

大学卒業後は東京都の中学校教員として八丈島に赴任し、

「生徒会長として」

第五十三期生徒会会長
佐藤 竜太(電気科)



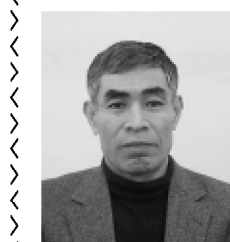
私はもともと何の経験もなく勢いで生徒会長に立候補しました。しかし、当選してすぐに後悔してしまいました。仕事のむずかしさ、これまでになかった責任の重さ、そして周囲の期待。けれども、今ならはつきり断言できます。「私は生徒会長を務め

たことを喜びに感じ、誇りに思います。」と。私がこの一年で学んだこと、そのひとつが行事運営をしていくうえで大切な計画・実施・検討・処置です。これらがしつかりできてないと、行事は成功しません。これは行事に関わらず、全てのことに言えると思います。そして、そのどれもが難しく、とても頭をひねりました。それが最も実感できたのが岡工祭です。今年が創立百一周年、二十一世紀突入の年です。昨年は百周年記念の年で行事関係は大いに盛り上がりました。けれども、「昨年は百周年だったから凄かった。」とは、絶対に言われたくありません。そこで、学校内だけではなく一般の方たちにも

公開する岡工祭には特に力を注いだのです。夜遅くまで残り、アイデアを出し合い、検討を繰り返しながら完成を目指しました。このような動きは各団体さまざまでありますが、岡工を全体で見ると、みんなが丸となってひとつの目標に向かっていました。だからこそ今年度は、昨年に負けない岡工祭を盛大に開催することができたのです。そして、大成功のうち幕を閉じることができました。

私がこの職に就いた始めの頃は右も左も分からない状態で、「生徒会長」という名前ばかり気にして空回りし色々失敗もしました。周りの方にも迷惑をかけてしまいました。そんな力不足な私を陰で支え、バックアップしてくれたのが生徒会執行部のみんなであり、先生方でした。この時私は、「一人だけの力は微力でも、助け合い、支えあう仲間がいればどんなことでも乗り越え、実現できるのだ。」ということも学びました。何より私はこの岡工が大好きです。この気持ちにはみんな同じでした。だからこそ、最後までみんな付いてきてくれたのだと思いま

島の子供の純真さに心を洗われ、教員になって生き甲斐が持てて本当に良かったと便りがあり、やっと彼にも幸せな人生が始まったと喜びました。その後、慣れ親しんだ島の子供達と後ろ髪を引かれる想いで八丈島を後にして、江東区の夜間中学校に転勤し、恵まれない環境で頑張っている生徒に、自分は一番合っている学校と、はにかみながら嬉しそうに語ってくれた彼の表情を、今でも鮮明に思い出せます。この様に多くの卒業生が毎年



成長していく姿を見ると、教え子に負けたら駄目だと思いつつ、来年は定年を迎える事になりました。岡工で過ごした青春時代の純真さを何時までも持ち続ける事を卒業生に願いつつ、もつと工友会に輪が広がって気楽に岡工を訪れて貰いたいものです。最後に岡工の益々の発展と工友会の皆様方のご健勝をお祈りいたします。



公開する岡工祭には特に力を注いだのです。夜遅くまで残り、アイデアを出し合い、検討を繰り返しながら完成を目指しました。このような動きは各団体さまざまでありますが、岡工を全体で見ると、みんなが丸となってひとつの目標に向かっていました。だからこそ今年度は、昨年に負けない岡工祭を盛大に開催することができたのです。そして、大成功のうち幕を閉じることができました。

私がこの職に就いた始めの頃は右も左も分からない状態で、「生徒会長」という名前ばかり気にして空回りし色々失敗もしました。周りの方にも迷惑をかけてしまいました。そんな力不足な私を陰で支え、バックアップしてくれたのが生徒会執行部のみんなであり、先生方でした。この時私は、「一人だけの力は微力でも、助け合い、支えあう仲間がいればどんなことでも乗り越え、実現できるのだ。」ということも学びました。何より私はこの岡工が大好きです。この気持ちにはみんな同じでした。だからこそ、最後までみんな付いてきてくれたのだと思いま



後輩の活躍

【専門科】

■機械科

・全国製図コンクール

最優秀特別賞 岩崎 雄一(機三)

・第六回全国スターリングテクノ

ラリー高校の部ノーマルサイズ

第一位 多久英作 大西晃正

宗信智博(機三)

高校の部ミニサイズ第二位

特別賞(アイディア賞)銀賞

■土木科

・第十九回中国地区測量技術競技

大会トランシット測量の部 優勝

■化学工学科

・公害防止管理者試験

ダイオキシソ類 合格

川上 英朗(化三)

水質四種 合格

川上 英朗(化三) 津川 英之(同)

■デザイン科

・高校生ゆめ創造祭

キャラクターマークの部

最優秀 兼光 良枝(デ二)

・高校生美術コンクール ポスター

の部 金賞 横見瀬由香(デ三)

水彩風景の部 金賞 柴垣 有

希(デ二)

■情報技術科

・第二十二回全国高等学校IT・

簿記選手権東中国大会



IT部門 準優勝

・国家検定資格取得者

基本情報技術者合格

角吷圭太 友田雄介 福寿恭章(情

三)

初級システムニアドストレー

タ合格 友田雄介 長崎禎普

福寿恭章(情三) 朝本敏司 川

崎将也(情二)

工事担当者アナログデジタル

総合種 角吷圭太 友田雄介(情

三)

■電気科

・ジャパンマイコンラリー

二〇〇三全国大会出場

【部活動】(平成十四年度全国大会

出場部と主な入賞者)

■インターハイ出場(於茨城)

・陸上競技部

・自転車競技部

チームパーシユート 第七位

井上 博登(建三) 益岡 健二(土

三) 片山 和正(土二) 佐藤 武士

(機二)

・ボクシング部

・カヌー同好会

■第五十七回国民体育大会(於高

知)

・陸上競技部

・自転車競技部

・ボクシング部

■全国高校少林寺拳法大会(於滋賀)

・少林寺拳法部

■全国高校総合文化祭(於神奈川)

・美術部 囲碁同好会

■第二十六回全国高校囲碁選手

権大会(於東京)

・囲碁同好会

■第八十六回日本陸上競技選手

権リレー競技大会(於神奈川)

・陸上競技部

■第八十二回全国高校ラグビー

フットボール大会(於大阪)

・ラグビー部

■第十四回全国高校ボクシング

選抜大会兼JOCジュニアオリ

ンピックカップ(於埼玉)

・ボクシング部

■その他 中国大会出場

陸上競技部 自転車競技部

弓道部 吹奏楽部 ラグビー部

ボクシング部

会員名簿

二〇〇四年版の発刊

工友会の会員名簿は五年ごと

に発刊しています。

来年の平成十六年が発刊の年

になります。今年度は会員宛に

会長名で調査カードが送られま

す。必要事項を記入してご返信

下さい。返信された情報によっ

て名簿が作成されます。このカ

ードは、必ず岡工に届くよう

なっています。業者に直接返送

されることはありません。

会員名簿は会員のみで販売で

予約制になっていますのでよろ

しくお願いします。

頒布価格は前回と同じ装丁で

四千八百円の予定です。

工友会の会員名簿は(株)サラ

お知らせ

未だに『岡工』、『工友会』の名称

を使って名簿や広告などの勧誘

をする業者がいます。

文面には「学校、同窓会とは関

係ない」ことを明記している場

合もありません。工友会とは一切

関係ありませんのでくれぐれも

ご注意下さい。

またそのようなことがありま

したら工友会事務局までお問い

合わせ下さい。

編集後記

関係者多数の御協力をいた

きました、第四十四号の会報を無

事発刊することができ、寄稿いた

だきました皆様方に厚くお礼申

し上げます。

創立百周年記念事業であつた

百周年記念会館は、多くの工友会

会員のご協力をいただき昨年十

月に竣工しました。すばらしい施

設に生徒教職員も喜んでおり、大

切に利用させて頂きます。

現在、化学工学科棟と土木科棟

の建て替えに伴う、遺跡調査が進

められています。思い出の多い校

舎がなくなり、少しさびしくなり

ますが、最新の設備の整った新校

舎の完成を待っています。

会報の誌面充実のため、各地の

話題、会員の動静、同窓会の開催

報告などがありましたらお知らせ

下さい。今後ともよろしく御協

力いただきますようお願いいた

します。

ご意見・情報
お問い合わせは...

〒700-0013
岡山市伊福町4-3-92
岡山県立岡山工業高等学校

工友会事務局

tel:086-252-5231
fax:086-252-7130
http://www.okako.com/